

3. 品質への取り組み

品質基本方針

三ツ星ベルトグループでは、「経営基本方針」を「品質基本方針」と定め、その「行動基準」に基づき、顧客に提供する製品・サービスの質向上を図るための品質保証体制を整備し、活動しています。

品質基本方針

「高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」

行動基準

- ① 顧客の満足を得る製品を開発する。
- ② 全社的品質管理(TQM: Total Quality Management)を充実・レベルアップし、国内外業界のトップレベルの品質を確保する。
- ③ 決めた標準を守って仕事を行う。

品質マネジメントシステム取得による品質保証への対応

品質マネジメントシステムについては、自動車用関連製品で世界トップレベルの品質システム向上を図るため、国内外の工場で、自動車業界の国際品質規格IATF16949の認証を取得するとともに、各種製品でISO9001の認証を取得し、品質保証体制の強化を図っています。

IATF16949・ISO/TS16949・ISO9001・JIS A 6008 認証取得状況

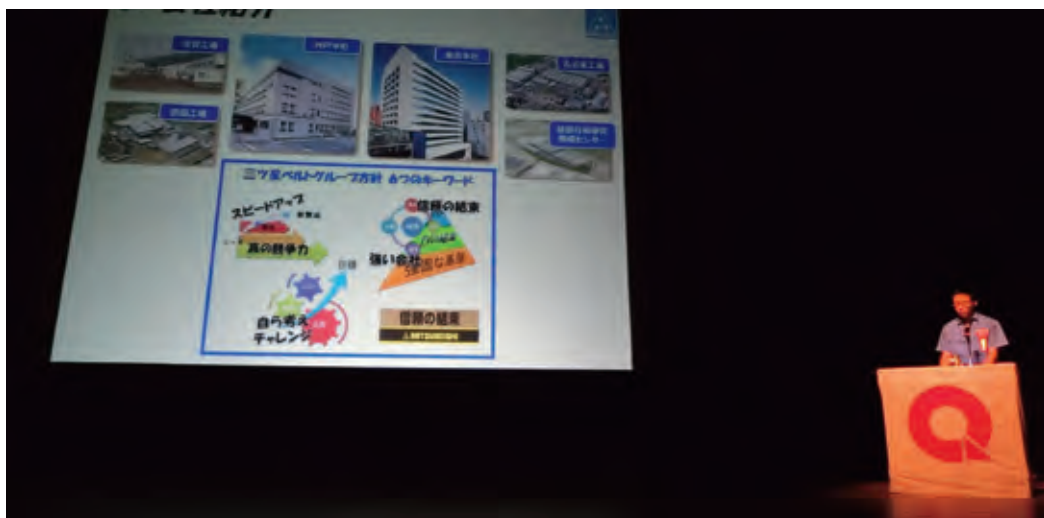
規格種類	対象		取得年月日
IATF16949	産業資材事業部門 (神戸本社、東京本社、名古屋工場、四国工場) 三ツ星ベルト技研株式会社	伝動ベルト	2004.05.04
	MBL (USA) CORPORATION MBL (USA) CORPORATION Detroit Office	伝動ベルト	2004.04.28
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	伝動ベルト	2005.05.21
ISO/TS16949	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	伝動ベルト	2006.09.27
	P.T. SEIWA INDONESIA	伝動ベルト	2004.11.05
	蘇州三之星機帶科技有限公司 上海共星機帶國際貿易有限公司	伝動ベルト	2008.09.16
	MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	伝動ベルト	2015.05.06
ISO9001	産業資材事業部門 (神戸本社、東京本社、四国工場) 三ツ星ベルト技研株式会社	伝動ベルト	1996.06.10
	産業資材事業部門 (名古屋工場)	ウォームホイールブランク 浄水器用フィルター	1996.06.10
	研究開発本部	金属ペースト、回路基板、塗料	2011.11.28
	建設資材事業部 (神戸本社、東京本社、名古屋工場)	建築用防水材 土木用遮水材	1998.12.28
	三ツ星ベルト工機株式会社	タイミングプーリ	2003.05.12
	三ツ星ベルトコンベヤ株式会社	樹脂製コンベヤベルト	2004.02.03
	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	伝動ベルト	1993.12.29
	P.T. Mitsubishi Belting Indonesia	伝動ベルト	1999.12.03
	P.T. SEIWA INDONESIA	伝動ベルト	2000.04.03
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	伝動ベルト	2009.03.16
	蘇州三之星機帶科技有限公司 上海共星機帶國際貿易有限公司	伝動ベルト	2008.09.16
	建設資材事業部(名古屋工場)	合成高分子ルーフィングシート	2008.07.29

従業員の品質意識向上 – QC(品質管理)サークル活動 –

三ツ星ベルトグループでは、「品質基本方針」に基づき、全社的な品質管理(TQM:Total Quality Management)を推進しています。その一環として、1967年からQC(品質管理)サークル活動に取り組んでいますが、近年は、国内工場に留まらず、海外にも広がり、グローバルな人材育成・改善活動の場として定着しています。毎年、秋には「三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会」を開催し、現場における製品の品質管理や作業効率の改善などの事例を発表し合い、相互研鑽を図っています。社外のQCサークル発表会にも積極的に参加しており、2017年6月に開催されたQCサークル東海支部愛知地区主催「QCサークルフレッシュ大会」では、名古屋工場の施設課サークルが「愛知地区長賞」を獲得しました。



2017年度三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会(シンガポール)



2017年度QCサークルフレッシュ大会(QCC東海支部愛知地区主催)にて、「愛知地区長賞」獲得



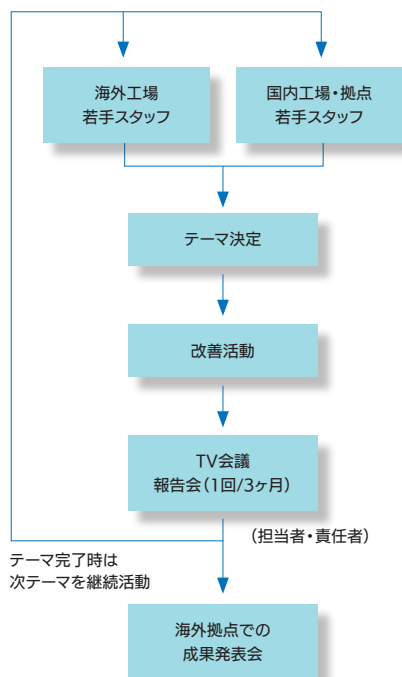
2017年度QCサークル全社大会(神戸本社)

GLOBAL GEMBA KAIZEN ACTIVITY



国内外工場、拠点の若手スタッフが主となり、生産工場における、生産性向上や歩留まり向上、不良低減などの原価低減テーマを計画的に改善していきながら、人材の育成を図る取り組みを実施しています。テーマの選定は、各工場より1件以上とし、国内工場スタッフと海外工場スタッフが連携し、各テーマを解決していきます。先輩スタッフを交えた定期的な進捗報告会や、年1回の海外工場での活動成果発表会などを通して、改善活動のレベルアップや拡販を図っています。

活動フロー



活動状況

WEB 会議

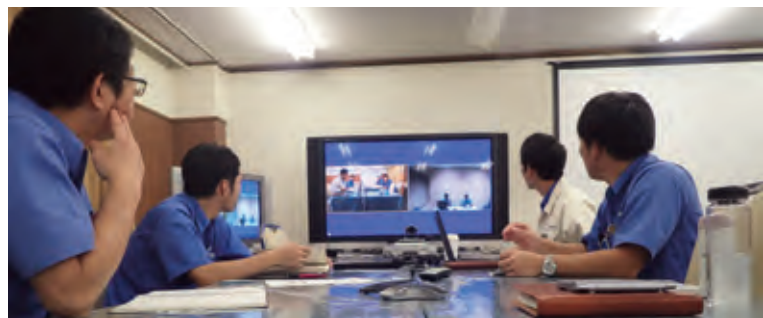


海外工場



国内拠点

TV会議



国内拠点

2017年度成果発表会(シンガポール)

